

地域密着型サービス自己評価票

- 指定小規模多機能型居宅介護
(指定介護予防小規模多機能型居宅介護)
- 指定認知症対応型共同生活介護
(指定介護予防認知症対応型共同生活介護)

(よりよい事業所を目指して・・・)

記入年月日	平成	年	月	日
事業所名	グループホームファミリア元八事			
ユニット名	2ユニット			
事業所番号	23 - 7160 - 1234			
記入者名	職名	介護支援専門員	氏名	大竹節子
連絡先電話番号	052 - 832-8017			

自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・優しさと安らぎに満ち溢れた住まいを目指しています。 ・その方がその人らしく暮らせる場所である事を目指しています。 	
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家族に代わって、家族の一員として日々接し、その人らしさを大切にして行くよう指導しています 	
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家族には、その理念の説明を十分に行い、理解して頂いていると思います。 ・地域の方にも、その理念を伝えています。一部の方には理解して頂いていると思います。 	<p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域との交流を深め、今後一層理解して頂けるよう働きかけて行きたい。
2. 地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶を心がけいつでも立ち寄って頂けるよう声がけを欠かさないようにしています。また、指導しています。 	<p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後、地域での行事参加を考えています。
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会等の行事または地域活動への参加依頼をしている。 	<p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機会があればどんどん参加して行きたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	・隣、近所の方には「出来ることはないか?」「困っていることはないか?」声がけをしている。 ・話し相手程度で留まっている。	<input type="radio"/>	・今後、施設内でのお祭り行事などに取り組み地域の方が気楽に参加できる場を設けて行きたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	・自己評価や外部評価を受ける事で、よりサービスの向上が図れるものと考えている。 ・各自で遣り得ていたと思う事も、外部からの指摘により「気づき」や「見直し」につなげ改善できるものとする。	<input type="radio"/>	・外部 自己共々マイナスの無い施設でありたい。その為には結果を重視した確実な改善を目指して行きたい。
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、その意見サービス向上に活かしている	・行事報告、行事内容等の報告を行い、次へ向けて話し合っている。 ・出席されない方への報告は報告書(議事録)を通して伝達し意見を求め、反映させている。	<input type="radio"/>	・ご家族 地域の方の意見を反映させ、より一層サービスの向上を図って行きたい。
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	・何かにつけ市町村の方にはご迷惑の事と思いますが、伺いご指導、ご指摘して頂いています。それが一番市町村のご意見に沿ったサービスだと思っています。	<input type="radio"/>	
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	・理解はしています。今の時点活用場がない。	<input type="radio"/>	・今後、必要に応じ活用して行きたい。・職員指導も行っていきたい。
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	・スタッフ間で声を掛け合い、スタッフの居場所が把握できるようにしている。 ・言動は十分注意するよう指導している。	<input type="radio"/>	・今後、勉強会や指導を行い、更に強化して行きたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>・契約、解約については、面接時の際に書類を通し十分な説明を行い、ご理解、ご納得して頂いている。</p>	
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>常に利用者様の言動に注意を払い、スタッフからも話し易い状況を作るように心がけている。 ・内容については、朝のミーティングの際に他のスタッフに内容を伝え、検討していくようにしている。</p>	<p>○</p> <p>・利用者様の言動について、伝えるだけでなく介護記録の充実化を図って行きたい。</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>・面会時やその状況に応じ、その都度伝えている。 ・全体的な伝達事項については、請求書と一緒に同封して報告しご理解頂いている。</p>	
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>・ご家族から頂いた意見等は、その都度ミーティングにかけ、検討している。時には、他のご家族から意見を求めることもある。</p>	<p>○</p> <p>・職員の意欲向上、サービス向上へと繋げて行きたい。</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>・毎朝のミーティング及び毎月のミーティングにて各自での意見交換を行っている。</p>	<p>○</p> <p>・職員の意見、提案を尊重し意欲向上、サービス向上へと繋げて行きたい。</p>
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>・その都度話し合い勤務の調整に努めている。 ・運営者とも話し合い人員確保に努めている。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	・当然ではあるが、必要な場合もある為、なるべく人員の確保に努める。・各職員に現場での遣り甲斐を持って貰うべき各自の意見の尊重をする。・非常勤ではなく常勤人員の確保に努めている。・管理者として利用者第一と考え、ダメージが少ないよう運営者と話し合っている。	○	・今後も人員確保のための職員指導のあり方を考慮していく。
5.人材の育成と支援			
19 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・段階の応じての計画は各個人のレベルもあるため、計画は立てても実行は難しい。・管理者は各種研修に出席できるよう奨励し受講費の負担は全額法人負担としている。・資格手当の支給により向上に遣り甲斐を持ってもらうようにしている。	○	・研修受講者による職員全員に対する勉強会をする事により法人内の質の向上を図って行きたい。
20 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	・市、地区の交流会は時間がある限り、職員に呼びかけ出席してもらいサービスの向上を目指している。	○	・ご利用様と共に相互訪問の機会を作って行きたい。
21 職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	・1ヶ月に一度、各施設の幹部による合同会議で不安材料を話し合い解決及び統一性を図っている。・毎月のミーティングによる職員の意見交換でのコミュニケーションの確立を行っている。	○	・職員一人ひとりの意見の確保に努め、ストレスを貯める事の無い様に話し合いの場を多くしていく。
22 向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	・把握している。・努力、実績については、役職対価にて報えるよう細かくタイムガードに記入してもらい、各自のサービスに対する意見について出来る限り現実のものとしている。	○	・各自がサービス計画について深く関わり、成功しご利用者様の笑顔をより多く得られる事が向上の近道であると考えている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>・可能な限り、ご本人とも面談し話を聞くように心がけている。・入所時の不安を軽減する為、ご本人との信頼関係に努めている。</p>	<p>○</p> <p>・ゆっくりと傾聴できる時間を増やして行きたい。</p>
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>・ケアマネジャーに一任して対応している。・相談時には十分な時間を取り、傾聴に心がけ、ご家族の思いを理解するように努めている。</p>	<p>○</p> <p>・ご家族とのコミュニケーションの充実及びスタッフ間での情報提供の強化を図って行きたい。</p>
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>・ケアマネジャーに一任している。・入所して頂く事で在宅介護からの不安から抜け出し、ご家族とご本人がより良い関係が築けるよう支援している。・サービス内容の説明をして理解して頂き要望を取り入れた支援に努めている。</p>	<p>○</p> <p>・各利用者様の状況に応じた個別ケアの充実及び職員での統一したケアの向上を図って行きたい。</p>
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>・体験入居を1日から7日まで設け、利用して頂けるように努めている。・現状の様子を報告し合い、少しずつ距離を近づけ馴染めるよう心がけている。</p>	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>・炊事、洗濯、掃除など日常生活における「出来る事」を見つけ職員も一緒に交わって援助支援している。・利用者様の精神状況に応じ個別に対応して一緒に過ごすなどして支えあうようにしている。</p>	<p>○</p> <p>・職員の統一ケアの実施強化を図って行きたい。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	・ご家族に代わり職員が関わり利用者様の支援をしている。・ご家族の支援も重要と考え、ご本人を中心に共感し合えるよう努めている。	<input type="radio"/>	・ご家族にはなれないので介護のエキスパートとしてご家族の協力も得ながら支援して行きたい。
29 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	・ご本人とご家族間の連絡及び報告を行い、安心して生活が送れるよう支援している。・定期的に写真掲載などして日頃の生活状況を報告している。・在宅での生活状況など把握して理解に努めている。	<input type="radio"/>	・今後、更に職員での協議を行い、理解した上で対応して行けるよう努めて行きたい。
30 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・ご家族とのコミュニケーションを図り、ご家族の協力を得ながら外出等にて対応している。・ご家族の了承の下、その場所へ行き対応している。	<input type="radio"/>	・一人ひとりの対応となると限界があるため、今後更に時間を配慮した支援を行っていく。
31 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	・職員も関わり合いながら、利用者様同士支援をしている。・スタッフが間に入り、孤立がないよう支援している。	<input type="radio"/>	・利用者様の状況に応じた関わり合いの強化を図って行く。
32 関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	・管理者、ケアマネジャーが対応。・手紙やはがき等により関係の維持に努めている。	<input type="radio"/>	・今後も続けていく。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1.一人ひとりの把握			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>・利用者様の希望や意向の聞き取りを行い、利用者様本位の対応に心がけている。・日々の生活の中で会話をもち、その時折の思いを知るよう努め、それに添えるよう努力している。</p>	<p>○</p> <p>・一人ひとりの意向に沿い、より良いケア体制を向上させたい。</p>
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>・カンファレンスを素に経過把握に努めている。・ご家族やご本人からの情報収集を行い、理解して行くよう努めている。・在宅のケアマネ、入院先の看護師または医師からの情報提供をお願いし、他の職員に伝え把握して頂いている。</p>	<p>○</p> <p>・ご家族とのコミュニケーションの充実及びスタッフ間での情報の共有強化を図って行く。</p>
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>・カンファレンスや申し送りにより日々の変化に対応できるよう心がけている。・日々の心身状況（言動）に注意しながら対応している。・利用者様の生活リズムを把握してリズムを崩さないよう対応している。</p>	<p>○</p> <p>・申し送りの重要性を理解して常に情報交換が出来るよう努めて行きたい。</p>
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>・サービス担当者会議の実施によりご家族の意見も反映させながら、各スタッフがアイデアを出し合い計画作成に努めている。・日々のミーティングの中で「必要なケアは何か？」話し合っている。</p>	<p>○</p> <p>・職員とご家族との連携強化を図って行きたい。</p>
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>・日々の申し送りの中で、新たな見直しを随時行っている。・3ヵ月毎モニタリングを行い、ケアの見直しを行っている。・状況が大きく変化した場合には、ご家族と相談の上、新たな立て直しを行っている。</p>	<p>○</p> <p>・利用者様の変化など気づきに対する意見を反映させ、内容検討に取り組んで行きたい。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・介護記録は、24時間記録となっており、その中にケアプラン記録も盛り込み個別記録に活かしている。・利用者様の精神状況、行動等わかるように記録している。	<input type="radio"/>	・個別ケア面においての介護記録の統一性を図って行きたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	・要望に応じ、可能な限り支援している。	<input type="radio"/>	・今後、チームとしての充実化を図って行きたい。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	・時々ボランティアの方を招き、日々の生活に変化をつけている。・社協協力によるボランティアの派遣やご家族の協力によるボランティアにてイベントを開催している。・消防との関わりを持つようにしている。	<input type="radio"/>	・協力機関の充実を図って行きたい。
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	・出来ていない。	<input type="radio"/>	・必要に応じ検討して行きたい。
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	・今はしていない	<input type="radio"/>	・今後、必要に応じ協力して頂けるよう検討して行きたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・緊急連絡網対策は取り組んでいる。・週1回かかりつけ医の往診があり、情報提供を行っている。・病状に応じ、医師との連絡が取れるようにしており、適切な医療が受けられるようになっている。・必要に応じ、他の病院へ受診している方もいる。	○	・利用者様の病状に応じ、他院へ受診して頂いている。今後も関係を築けるよう情報提供を行っていく。
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	・週1回の往診時に看護師よりかかりつけ医に報告、相談等を行い、それに応じた治療が受けられるように支援している。		
45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	・医療連携体制を取っており、往診時またはその都度連絡を取り相談している。・看護職員と日常健康管理や医療活用の支援を行っている。		
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	・入退院時には、医師、看護師等と連絡を取り、情報交換を行った上で対応できるよう備えている。・医療機関との連携を実施している。	○	・緊急時の対応に備え、入院先との連携強化に努めていく。
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	・病状及び今後起こりえる状況について医師と相談しながら、ご家族への説明を行い、共有しながらケアに取り組んでいる。。	○	・職員が対応できるよう情報を共有しチームでのケアを強化して行きたい。
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	・医師、看護師の指導の下行っている。・終末期をどのように迎えるか?ご家族と十分に話し合い、職員があわてることなくケアが出来るよう支援に取り組んでいる。	○	・医療連携体制の強化と職員への指導を行い、安心して終末期が送れるよう支援していく方針です。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49 住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	・入院時等、移動があった場合は、情報提供書などでその方の状況を伝え、その後の情報交換にも努めている。		
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
50 プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	・利用者様に対する言葉遣いなどに注意をしている。・悩みや不安については、居室に入り個別対応するようにしている。	<input type="radio"/>	・一人ひとりの誇りや尊厳を守り、敬意を持った対応に重視して行きたい。
51 利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	・どうしたいのか?自己決定の支援をしている。・会話、ケアなどの際の言動から把握し、わかりやすい説明に心がけ、納得して暮らせるよう支援している。	<input type="radio"/>	・職員がゆっくり傾聴できるようゆとりある支援を目指している。
52 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・依存心も強く現れるため、自分で出来ることは自分で出来るよう支援している。・ケア等に対する無理強いを避け、過ごしやすい場であるよう支援している。	<input type="radio"/>	・職員側の都合になっている場合も多い為、利用者様のペースで職員がゆとりを持って対応できるようにして行きたい。
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
53 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	・2ヶ月に1回、訪問理容サービスを行っている。・本人の希望に応じた対応をお願いしている。	<input type="radio"/>	・今後、更に希望に沿った支援を行っていく。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	・月に2回、特別食の日を設け、買い物やら準備など一緒に行っている。・日々、一緒に準備片付けをしている。・日々のメニューは献立表で決まっているが、マンネリ化しないようアレンジを取り入れている。	<input type="radio"/>	・利用者様の意見を取り入れた提供に重視し、利用者様と職員が共に協力できる施設でありたい。
55 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	・買い物などで好きなものが購入できるよう支援している。	<input type="radio"/>	
56 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	・排泄時間チェック表を用いて把握している。・一人ひとりの排泄パターンを把握してより良い排泄が出来るよう支援している。	<input type="radio"/>	・失禁する事での不安の軽減に努めて行きたい。
57 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	・基本的には、一日おきの入浴体制であるが、ご本人の要望に応じ日々対応している。・一階のお風呂を10時～20時まで開放し一人ひとりのタイミングに合わせて支援している。	<input type="radio"/>	
58 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	・一人ひとりの状況に応じての声かけを行い支援している。・各利用者様の習慣やその日の状況(精神状況、夜間の睡眠状況など)に応じた対応をしている。	<input type="radio"/>	
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	・誕生日会などレクリエーションを通し楽しみを作っている。・生活パターンなど把握して、家事動作など出来る事は分担して張り合いのある生活を送って頂いている。	<input type="radio"/>	・認知のよってその差は大きいですが、時間と手をかけ張り合いのある生活支援をして行きたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・ご本人の状況を把握した上で、お金を所持して頂き使用できるようにしている。・利用者様によって、お金を立替、買い物を楽しんで頂いている。	<input type="radio"/>	・今後ご本人の力に沿ってご家族と話し合い支援して行きたい。
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	・一人ひとりの対応も出来る限りしている。他の利用者様を交えて出かけられるよう支援している。	<input type="radio"/>	・希望に沿いつつ支援できるよう努めて行きたい。
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	・年3～4回の行事として行っている。・ご家族との外出支援をしている。	<input type="radio"/>	・今後、楽しみの一つとして年間行事での取り組みに努めたい。
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	・利用者様、ご家族の意思に沿いながら対応している。・利用者様の状況に応じ、ご家族のその都度説明し電話対応している。・年賀状等届いた場合、返事が書けるよう支援している。	<input type="radio"/>	・交流が途切れないよう支援している。
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	・リビングや居室と好きな所で過ごして頂けるよう配慮している。・時間に追われず、ゆったりとした雰囲気の中で過ごして頂けるよう配慮している。	<input type="radio"/>	・気楽に来所して頂けるよう親しみを持った接し方が出来るよう今後も努めて行きたい。
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・十分理解した上で、ご本人や他の利用者様の安全を考え、ご家族と良く相談した上で了承して頂き、必要最小限の範囲で施行している。	<input type="radio"/>	・身体拘束を行わなくても良い方法を日々模索している。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	・居室の鍵はご本人の希望が無い限り行ってない。 ・玄関は、エスケープをする方が見えるので施錠中である。	○	・エスケープ対策、外部からの進入予防等、安全性を考え検討中である。
67 利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	・様子観察しながら、利用者様の行動を把握している。 ・定期的な巡回を行い、所在確認と安全確認を行っている。		
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	・一人ひとりの状態に応じて対応している。 ・針等使用した場合は、職員が付き、最終確認を行っている。 ・台所の包丁やレンジ等については、夜間電源を切ったり、ロックをかけたりして危険防止に努めている。	○	・今後も、利用者様の状況に応じた対応を心がけていく。
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	・事故防止マニュアルの完備。 ・事故が起こった場合、アクシデント書類を提出して、今後を検討している。 ・環境整備に努め、危険を予防している。 ・食形態の配慮を行っている。		・今後も起こり得る状況の把握を行い、職員同士で安全確保に努めて行きたい。
70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	・定期的には行ってないが、事故発生時のマニュアル完備している。 ・連絡方法や状態報告等の内容指導を行っている。	○	・定期的な勉強会を行い、理解を深めて行きたい。
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	・消防訓練を年に1回施行。	○	・消防署による避難訓練を1回施行。今後、地域の方々の協力を得て、定期的な訓練を行って行きたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72 リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	・管理者やケアマネージャーを通し、家族会や個別面談を行っている。・起こりえるリスクについて説明を行い、そうなった場合の対応策も話し合い、職員に伝え理解して頂いている。	○	・ご家族との信頼関係を重視していく。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	・申し送りや記録に書き残し、情報の共有を図っている。・1日一回の検温を行い、状態観察をしている。・食事の摂取状況等、身体状況から日々の体調の変化に注意を払っている。		
74 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・内服情報提供書を個人記録に保管し、職員が目を通せるようにしている。・重要な薬については、看護師から説明を受け、確実に服薬できるようにしている。・服薬後の症状等にも注意をしている。	○	・服薬の理解を深めて行きたい
75 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	・排泄の確認チェック表を用いて、排便確認している。・利用者様の状況に応じ、食形態の工夫を行っている。・食事量、水分補給をチェック。・スタッフと一緒に出来る事は促し、身体を動かして頂いている。	○	・運動を取り入れたケアを進めて行きたい。
76 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	・義歯洗浄の実施及びうがい、歯磨き等の実施を行っている。・利用者様の状況によって、口腔歯科往診依頼している。	○	・嚥下機能低下の予防及び感染予防対策として取り組んで行きたい。
77 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・介護記録に記載し、日々の状況確認が出来るようにしている。・食事摂取状況についての申し送りを行い、情報の共有を行っている。・利用者様の状況に応じた食形態、食事内容の工夫をしている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	・感染予防マニュアルの完備。・職員はもちろん利用者様の手洗いに重視している。・浴槽や台所の消毒などを行い、感染予防に努めている。・往診医による予防接種実施。	○	・ご家族、利用者様、職員の意識確立に努めて行きたい。
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	・食材は業者へ依頼・まな板など消毒除菌の実施。冷蔵庫内の点検を週1回施行し衛生管理に努めている。・野菜類は、必ず火を通すようにしている。	○	・今後も、食中毒に関する意識確立に努めて行く。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	・広くて明るい空間作りをしている。・玄関には、長いすを配備して靴の脱ぎ着がしやすいようにしてある。・最近では、利用者様の作品を飾り、親しみやすい空間作りをしている。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・トイレには、防臭剤の設置。・レクリエーションを通して、季節毎の作品を一緒に作成し、リビングや廊下に飾り季節感を取り入れている。・トイレや床は、こまめに清掃し清潔保持に心がけ居心地良いよう心がけている。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	・リビングには、ダイニングテーブルやソファを設置。・一人ひとり時間に追われることなく、思い思いの時間を過ごして頂いている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	・ご本人の意向に沿ったベッド配置や家具設置を して頂いている。・ご自分の作品など飾って、居 心地よい場所作りをしている。		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	・温度調節は、こまめに行っている。・利用者様 の状況に応じた温度調節に心がけている。	<input type="radio"/>	・居室の換気に心がけていく。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	・階段、廊下にはスロープを設置し、身体機能状 況に応じた配慮を行っている。・出来る事への促 し、出来る事への自信を持って頂けるよう支援し ている。	<input type="radio"/>	・出来る事への自信を重視したケアを強化して行 きたい。
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	・目印や名札などをつけて場所がわかるよう配慮 している。・壁やドアなどの色が統一され、わか りにくい部分には、色や文字による表示を行い、 わかりやすくしている。	<input type="radio"/>	・色や文字を取り入り、各利用者様に合った自立 支援に努めて行きたい。
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	・ベランダには花、庭には花壇を設け、季節毎に 花や野菜を植え、水やりをしながら成長や収穫を 楽しんでいる。	<input type="radio"/>	・今後も続けていく。

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ 毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○ ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/> 大いに増えている <input type="radio"/> 少しずつ増えている <input type="radio"/> あまり増えていない <input type="radio"/> 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/> ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

不安の中入所された利用者様が、少しずつ笑顔を取り戻し、介護者の手を握って「安心する」と行って下さる姿があります。ここを第2の家として過ごして頂く気持ちで家族に代わって介護にあたっています。利用者様との触れ合う気持ちを大切にしています。